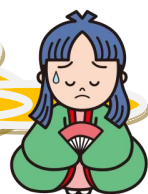


営農ウィークリーNEWS

注意!!!

奈良県でトビイロウンカ発生を確認!



昨年の被害の様子



5月26日、奈良県では、奈良県病害虫防除所より、トビイロウンカの発生が確認されたとして、県内全域に発生予察注意報が発表されました。

猛威を振るった昨年よりも確認が1カ月も早く、さらに発生量も多いとのこと。

京都府内での発表はありませんが、隣接する県での発生ですので注意が必要です。

これから晩生品種については、田植えの時期を迎えますが、田植え時に効果の長い薬剤処理をおすすめします。

すでに田植えを終えたところは、今後、京都府病害虫防除所からの予察情報に注意してください。

どちらにせよ、8月以降は、圃場に入り稲株元にトビイロウンカの発生がないか確認することが大切です。

トビイロウンカによる坪枯れ被害



株元を注意して観察して下さい!



防除の目安は、株当り成幼虫が5頭以上です。



TAC information

フルスロットル®

箱粒剤

!!!
TAC



昨年、管内で猛威を振るい多くの坪枯れ被害を発生させたトビイロウンカ。トビイロウンカは、6~7月に海外から飛来し、日本で世代交代を繰り返し9~10月には坪枯れ被害を発生させるほどに増殖します。数が増えてからや、坪枯れ被害が発生してからの防除はとて難しく、なかなか思ったような効果があみません。

お隣の奈良県ではすでに発生が確認されています!!!

ウンカ防除では、増殖させないことが大切です!そこで、JAからは「フルスロットル箱粒剤」をおすすめします!ウンカによく効く新規有効成分が長く残効し、ウンカの増殖を抑制することで、坪枯れ被害を抑えます!

2021年産米は、「フルスロットル箱粒剤」でトビイロウンカ被害を防ぎましょう!!!



